

学研北生駒駅周辺まちづくり会議

ニュース 第1号

【発行主体】

生駒市都市計画課

TEL 0743-74-1111(内線565)

3月16日(日)の10時より、北コミュニティセンターにて学研北生駒駅周辺まちづくり会議を開催しました。この会議は、北部地域の拠点である学研北生駒駅周辺のまちづくりについて、地権者の方々をはじめ事業者や学識者、行政と一緒に検討する場として設置されたものであり、これから秋頃に向けて「まちづくり構想」の作成に取り組んでいく予定です。

なお会議の内容については、当ニュースにて適宜ご報告していきます。



〈会議の概要〉

1. 開会
2. 構成員の紹介
3. 案件
 - (1) 学研北生駒駅周辺まちづくり会議会則(案)
 - (2) 座長の選出
 - (3) 学研北生駒駅周辺のまちづくりの展開イメージ
 - (4) 学研北生駒駅周辺地区の現状について
4. 意見交換
5. 閉会

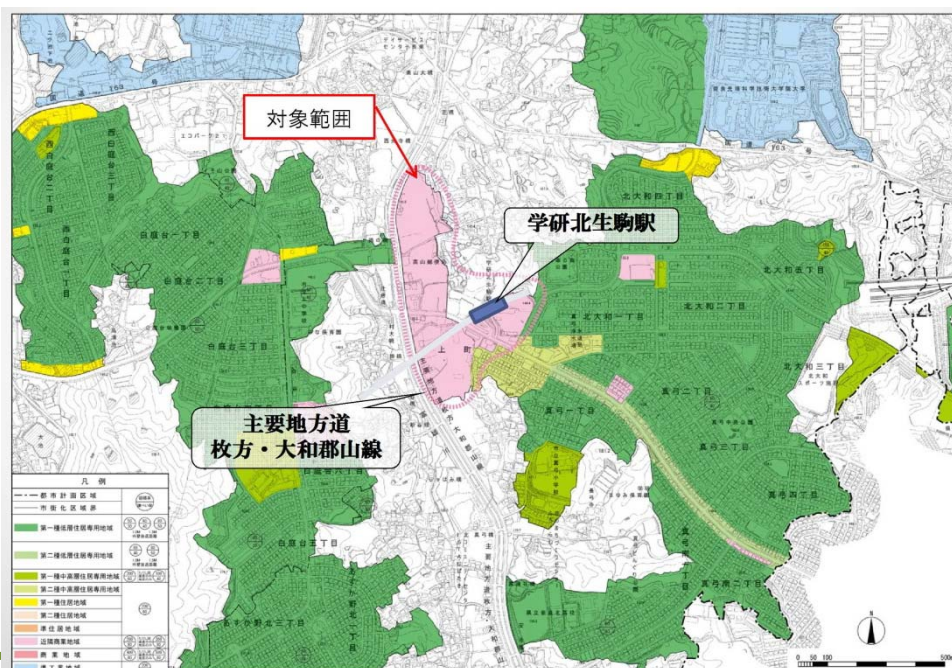
●はじめに

最初に構成員の紹介のあと、当まちづくり会議の会則(案)を説明し了解されました。その後、会議の座長に大阪大学松村暢彦准教授が選出されました。

松村座長からは「この北生駒駅周辺地区がどこにでもある金太郎飴のようなまちにならないように、みなさんで“この場所だからこそ”というまちのあり方を考えましょう」というお言葉をいただきました。

その後、事務局から、まちづくり会議の進め方や当地区の現状についての説明を行い、意見交換を行いました。

まちづくり構想の概ねの対象範囲



みんなで魅力的な北生駒のまちづくりを考えよう!



●質疑応答や意見交換の概要

◆この会議の目的は？

この会議では、自分の土地や既に計画のある事業単体を考えるのではなく、地区全体のまちづくりをどうしていくべきか、という点について考えます。

また、他の地域にはない特徴的なもの（例えば歴史的な事 etc）があるのであれば、それを活かしたまちづくりをすべきといった、地元の方々だからこそ分かる思いをご意見としていただき、それをまちづくり構想に反映していきたいと考えています。

◆この地区全体の土地を誰かが買い上げて開発を考えるとということなのか？

全くそういうことではございません。既に出店計画を検討されている事業もありますが、それも白紙にして検討をするということでもございません。この会議では、北生駒駅を中心としたまちづくりはどうあるべきか、そのために今から何ができるのか、といったことを話し合いながら、関係者の思いをすりあわせていきたいと考えています。そうして作成されたまちづくり構想は、今後の計画や事業の中身を規定していくものとなります。

◆学研北生駒駅ができた際に検討すべき話ではないか？既に遅いのではないか？

ご意見の趣旨もよくわかります。しかし、当時、当地区の位置づけが微妙な時期でもあったことからそういった動きにつながりませんでした。遅きに失したという意見もあるかと思いますが、今からでも出来ることはたくさんあると思うのでご理解をお願いしたいと思えます。

◆会議の内容・経過についてはニュース等で周知した方がよい

ご意見のとおり、このまちづくり会議の内容について、広く地元住民の方々に知ってもらう必要がありますので、ニュースレター等を通して周知を図っていきます。

◆その他

- ・ 既にこの地区周辺は交通混雑が発生しています。新たな開発を行うなら道路等の基盤整備をあわせて考えていくことが重要だと思います。
- ・ 個々のお店単独で考えるのではなく、地域全体として協力して取組み、利用者にとっても利用しやすいまちになれば良いと思います。

第1回の会議では、「会議の位置づけや目的」等についても質問が出て、まずはこの会議の趣旨を共有することから始まりました。次回からは「北部地域の拠点としてどんな施設・機能が必要か？」「具体的なまちのあり方は？」といったことについて議論していければと思っています。